

防犯一口広報

- 令和5年11月末現在の一宮警察署管内の刑法犯認知件数は1,870件で、前年同期比で+266件と大幅な増加になっています。
- 罪種別では、自転車盗と車上ねらいが多発しており、いずれも前年同期比で30件以上増加しています。
- 侵入盗は前年同期と同水準で推移していますが、空き巣の発生件数は市区町村別で県下ワースト(53件)となっています。

長期休暇となる年末年始は旅行等で不在になりがちで、侵入盗被害の発生が懸念されます。侵入盗防犯4原則の「時間、光、音、地域の目」を組み合わせた対策を講じましょう。

- 最近強盗犯が宅配業者を装い、白昼堂々と犯行に及ぶケースも認められることから、在宅時であっても施錠をし、訪問客には安易に面接することなく、インターホンやドア越しに対応しましょう。

また、自宅に必要な以上の現金を保管しないようにしましょう。

- 特殊詐欺は11月末時点で54件(前年同期比+9件)の被害を計上しており、被害総額は約1億6,000万円に上っています。

手口等の知識を得るとともに、自宅固定電話の留守番設定や特殊詐欺対策装置の活用、家族間における合言葉の設定等、物理的な対策を講じましょう。

交通安全一口広報

- 11月末以降、市内では死亡事故、重体事故が続発しており、12月14日時点で市内の交通事故死者数は10名(前年同期比+6名)となり、死者数が二けたに達したのは平成29年以来のこととなります。

死亡事故の多くは交差点やその付近において発生しており、一時不停止や飛び出し、無理な横断が原因とされています。

車両の運転手はもちろんのこと、歩行者も横断歩道を利用する等、交通ルールを遵守することが、事故に巻き込まれない対策となります。特に「乱横断」はやめましょう。

- 市内では自転車乗車中の事故が多発していますが、ヘルメットの着用の有無によって被害の程度が大きく変わっています。

自転車乗車時における死亡事故の7割は、頭部に致命傷を負ったことで発生しています。事故は突然発生し、その衝撃に対応することはまずできません。

自身の命を守るためにも、自転車乗車時はヘルメットを着用しましょう。